

必ず使用される前に本書をお読みください。本書において△警告のついた文章は、重大な人身事故を生ずる危険が存在する警告であり、△注意は重大には至らないが同様の危険が存在する注意事項です。なお、消火栓用消防ホースに関しては別途消火栓メーカーによる取扱説明書や警告表示にしたがってください。

1. 開梱上の注意

刃物の使用禁止 △警告

ダンボールのテープは刃物を使用せず、手ではずしてください。消防用ホースを結束している紐等も、刃物を使用せず、必ず手で取るようにしてください。カッターナイフ等で切ると、誤って消防用ホースを傷つけ、消防用ホース破断による人身事故が発生するおそれがあります。

2. 使用上の注意

(1) 使用者の制限 △警告

消防職員または消防団員や同等の放水訓練を受けた方だけが使用してください。特に、放水ノズルの保持方法や金具の接続を誤ると人身事故が発生するおそれがあります。

(2) 使用上の制限 △警告

消防用ホースを消火用の水以外では使用しないでください。特に気体での使用は非常に危険なので厳禁します。気体での使用中に消防用ホースの破断等が発生した場合、重大な人身事故が発生するおそれがあります。

C A F S等の泡放射の場合には消火薬剤を添加した水と一緒に圧縮空気が入るので、鋭利な突起物に当たるなどして消防用ホースが破断すると、圧縮空気のエネルギーによって消防用ホースや金具が大きく飛び跳ねる場合があります。(海外ではC A F Sでの消火活動中にホースが破断し、死亡事故が発生した事例があります。) 消防用ホースをC A F S等の泡放射で使用する場合には、各々の使用条件に合わせてダブルジャケットや使用圧の高いホース等を選定したり、輻射熱への配慮等々を行う必要がありますので、独自の判断で消防用ホースの銘柄(グレード)を選択せず、必ずホースメーカーへC A F S等への使用が可能かどうか、お問い合わせください。

(3) 使用前に △注意

消防用ホースを箱から出していきなり通水しないでください。新品の消防用ホースは角が出来やすい傾向があり、V字摩耗等が起きやすい為、水を通す前に何回か巻いたり伸ばしたりして消防用ホースの硬さを取ってからご使用願います。

(4) 性能の限界 △警告

消防用ホースに表示された使用圧以内で使用してください。過大な圧力は消防用ホースの破断や金具の吹き飛び等につながり人身事故が発生するおそれがあります。

カッター・釘・ガラス片等の鋭利なものとの接触や過度の摩擦は事故の可能性があるので避けてください。

硬くて重いものを消防用ホースの上に落とすと、床面と落下物の間で消防用ホースの内張り材が損傷を受けますので避けてください。金具などの硬いもので消防用ホースを強打すると、外側のジャケットには殆んど痕跡がないのに内張り材が損傷を受けて漏水することもあります。

(5) 展張時の注意 △注意

送水口の近くや建物の角での急角度の曲げを避け、大きな円弧を描くように消防用ホースを展張してください。

(6) 送水時の注意 △警告

消防用ホースの展張状態が上記(5)に記載されたとおりの状態であり、消防用ホースがV字状になってないことや消防用ホースの上に障害物等がないことを確認し、展張した消防用ホースが満水になるまではできるだけ低圧で送水し、満水後に昇圧してください。

又、放水中のノズル並びに吐水口の開閉操作はゆっくり行ってください。急激な開閉操作を行うと送水中の圧力の2～3倍の衝撃圧力が消防用ホース内に発生し、消防用ホースが飛び跳ねたり、破断して人身事故が発生するおそれがあります。

(7) 撤収時の注意 △注意

撤収時に消防用ホース内に水が残った状態でV字状に折り曲げたままで引きずると、新品の消防用ホースでも容易に穴があいてしまいます。

- 消防用ホース内の水を抜く際は、展張した消防用ホースを引きずらないようにして、水を抜いてください。
- 消防用ホースをまっすぐにする際は、消防用ホースを長手方向にひっぱり、消防用ホースがV字状になるような方向に引きずらないようにして巻き上げ、撤収してください。

(8) 安全の確保 △警告

万一の破断事故に備え、放水作業時には、直接放水活動に携わっている方以外は消防用ホースから離れるようにしてください。また、一般の人が消防用ホースに近寄らないよう措置・誘導してください。車等を通過させる場合は必ず消防用ホースブリッジを使用してください。車等が直接消防用ホースの上を通過すると水の流れが急に止められて消防用ホースが飛び跳ねたり、衝撃圧力で消防用ホースが破断して人身事故が発生するおそれがあります。

3. 保守上の注意

(1) 点検の実施 △警告

使用後は必ず外観点検を行い、ジャケットのよこ糸まで損傷を受けている場合には、その消防用ホースを使用しないでください。なお、金具取付部の針金が摩耗している場合や、金具がずれている場合にも、その消防用ホースを使用しないでください。消防用ホースの外傷や金具取り付け部の損傷は消防用ホースの破断や金具の吹き飛び等による人身事故が発生するおそれがあります。(消防用ホースとして破棄したものを農業用の低圧散水ホース等へ転用する場合でも、当該用途のホースに対する安全基準での点検を行い、安全を確認してから使用してください。)

消防用ホースのB10 ライフでの耐用年数は6～7年です。使用しなくても消防用ホースは経年劣化しますので、必ず当工業会基準での水圧による定期点検を行ってください。空気による加圧は消防用ホースの破断等が発生した場合、人身事故が発生するおそれがあります。

なお、「B10 ライフでの耐用年数」や「定期点検の工業会基準」等については日本消防ホース工業会のホームページを参照願います。

(2) 保管方法 △注意

使用後は洗浄し、ホース内部に水を残さないように乾燥させてから風通しの良い冷暗所に保管してください。

ホース乾燥機等を使用する場合には、消防用ホースの最も温度の高い部分で50℃を超えないようにしてください。70℃を超えると消防用ホースの寿命への影響だけではなく、内張り材剥離等の問題が起こるおそれがあります。

一般社団法人日本消防ホース工業会

ホームページ : <http://www.jfh.jp/>

TEL&FAX : 03-3245-1777

東京都中央区日本橋二丁目5番13号 日本橋富士ビル 帝商(株)内